

令和2年度「県民Webアンケート」 第2回 環境問題に関する意識調査について

○実施期間 2020/8/6～2020/8/12

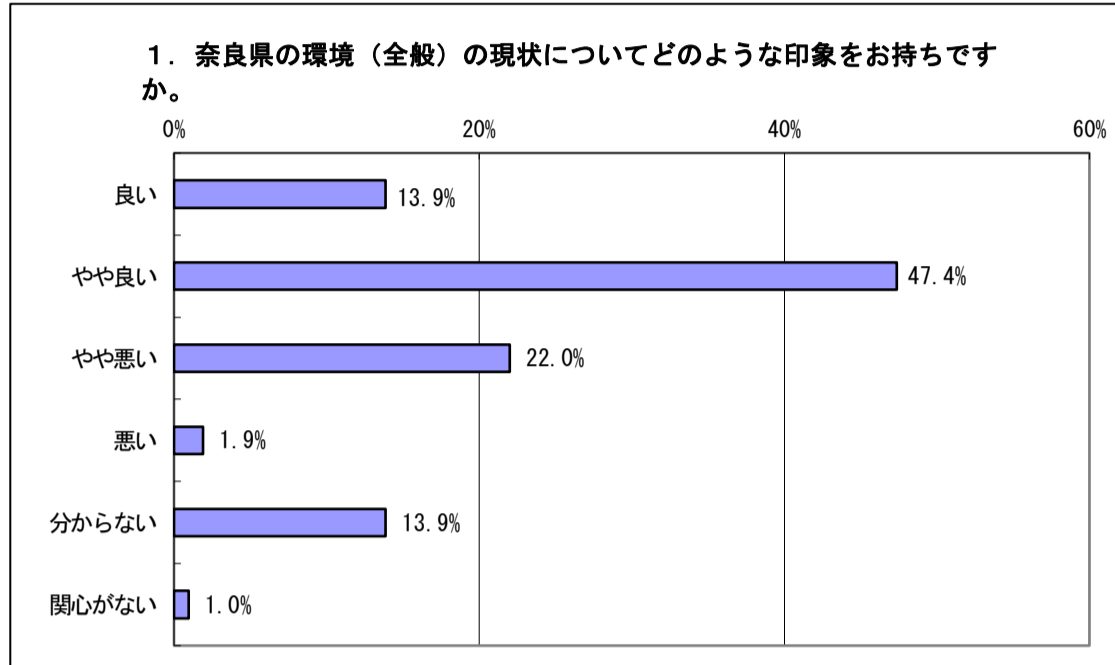
○アンケート会員数 237人 回収数 209件 (回収率 88.2%)

○県民の皆様が日常生活において、地球温暖化問題をはじめとする環境問題に対してどのように考え、どのような取り組みをされているかを調査します。このアンケートでは、特に「河川環境」「景観」「地球温暖化(省エネ・節電含む)」及び「ごみ問題」の4項目について、それらに対する意識や取組事例を伺います。

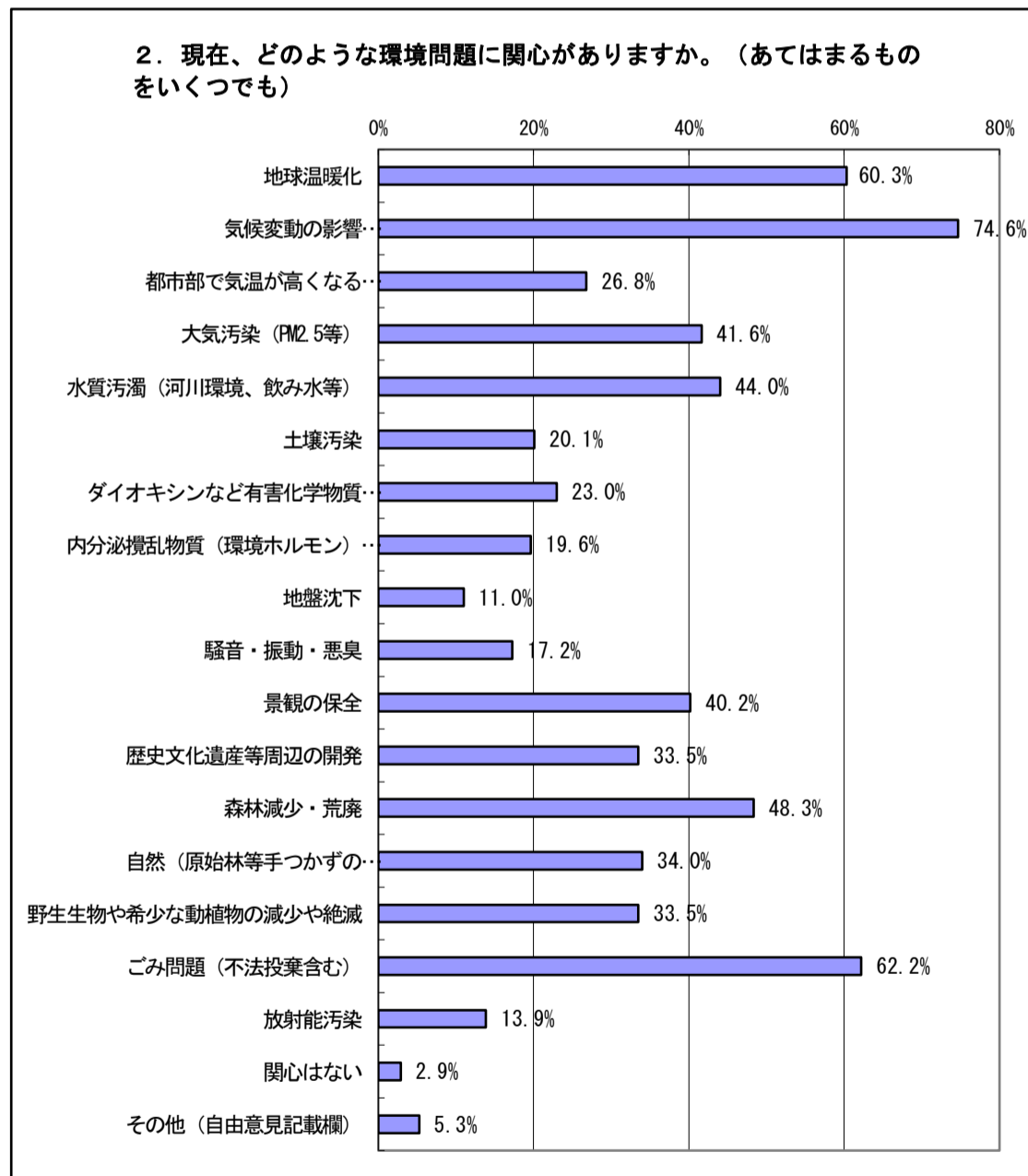
※前回調査(平成29年度)からの約3年経過による変化を把握するため、今年度同様のアンケート調査を行います。

これらの結果は、今後の奈良県の環境に関する施策の参考資料といたします。

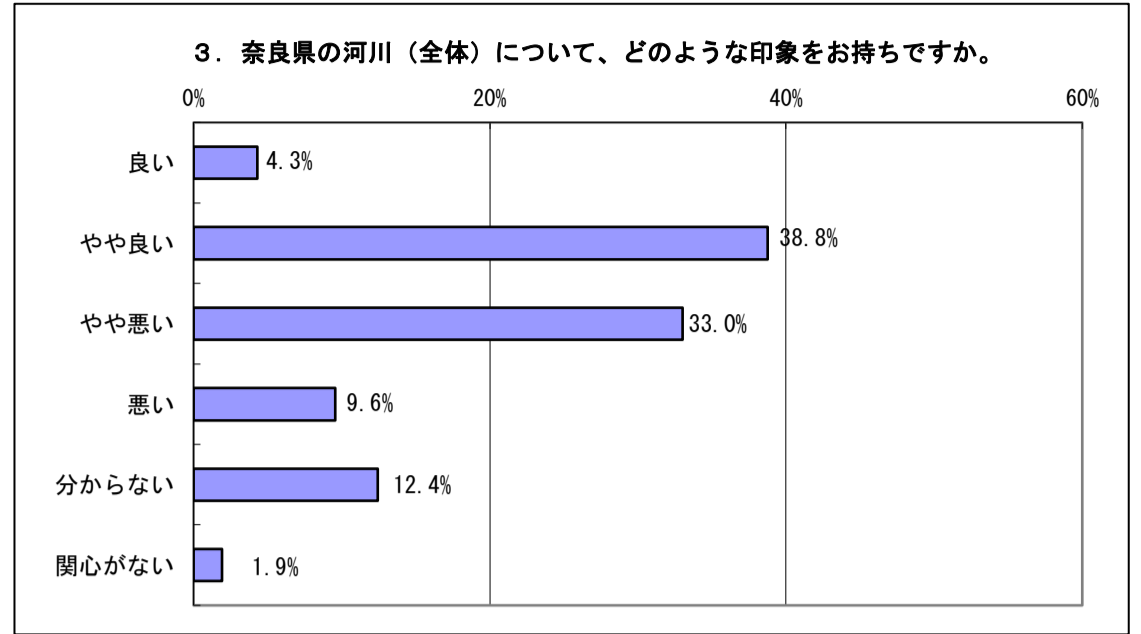
1. 奈良県の環境(全般)の現状についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
良い	29	209	13.9%
やや良い	99		47.4%
やや悪い	46		22.0%
悪い	4		1.9%
分からない	29		13.9%
関心がない	2		1.0%
総計	209		100%



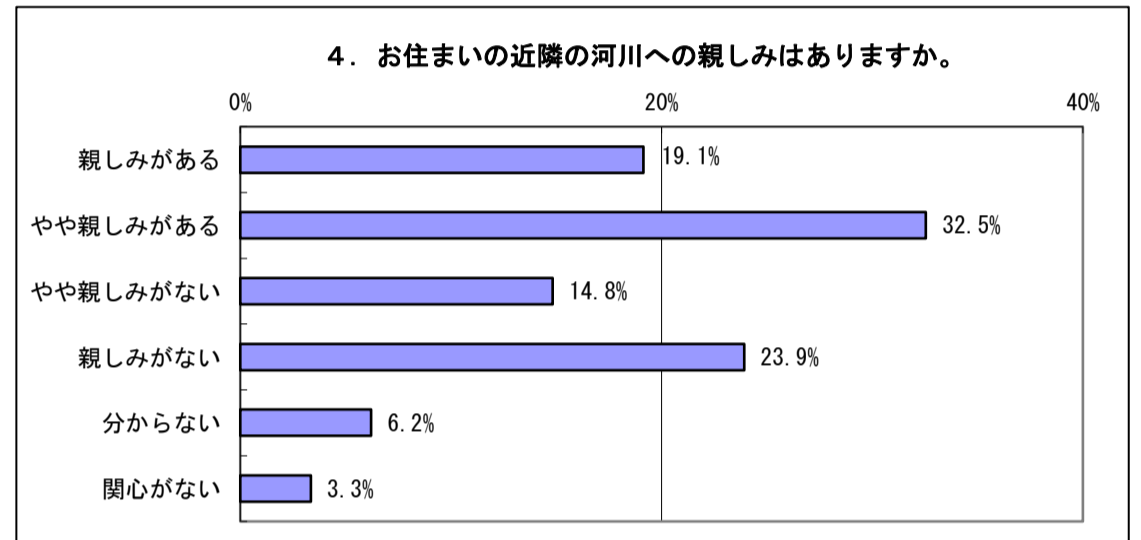
2. 現在、どのような環境問題に関心がありますか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
地球温暖化	126	209	60.3%
気候変動の影響(大雨、猛暑日の増加など)	156		74.6%
都市部で気温が高くなるヒートアイランド現象	56		26.8%
大気汚染(PM2.5等)	87		41.6%
水質汚濁(河川環境、飲み水等)	92		44.0%
土壌汚染	42		20.1%
ダイオキシンなど有害化学物質による環境汚染	48		23.0%
内分泌攪乱物質(環境ホルモン)による生物への影響	41		19.6%
地盤沈下	23		11.0%
騒音・振動・悪臭	36		17.2%
景観の保全	84		40.2%
歴史文化遺産等周辺の開発	70		33.5%
森林減少・荒廃	101		48.3%
自然(原始林等手つかずの自然や身近な自然)の減少	71		34.0%
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	70		33.5%
ごみ問題(不法投棄含む)	130		62.2%
放射能汚染	29		13.9%
関心はない	6		2.9%
その他(自由意見記載欄)	11		5.3%
総計	1279		-



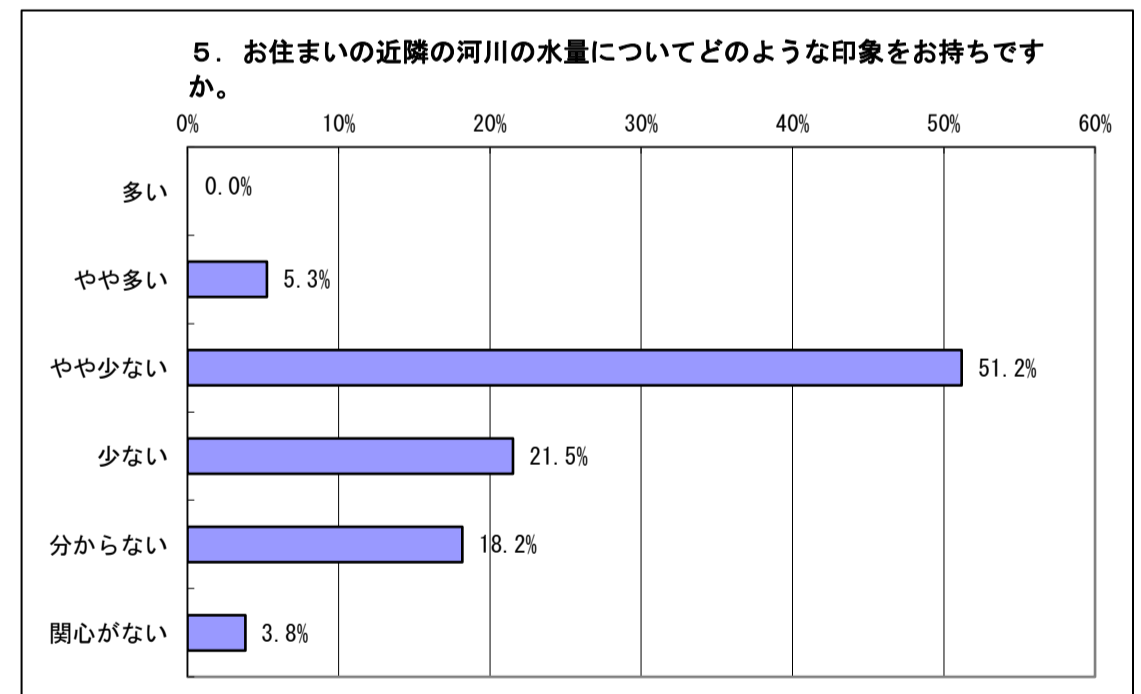
3. 奈良県の河川（全体）について、どのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
良い	9	209	4.3%
やや良い	81		38.8%
やや悪い	69		33.0%
悪い	20		9.6%
分からない	26		12.4%
関心がない	4		1.9%
総計	209		100%



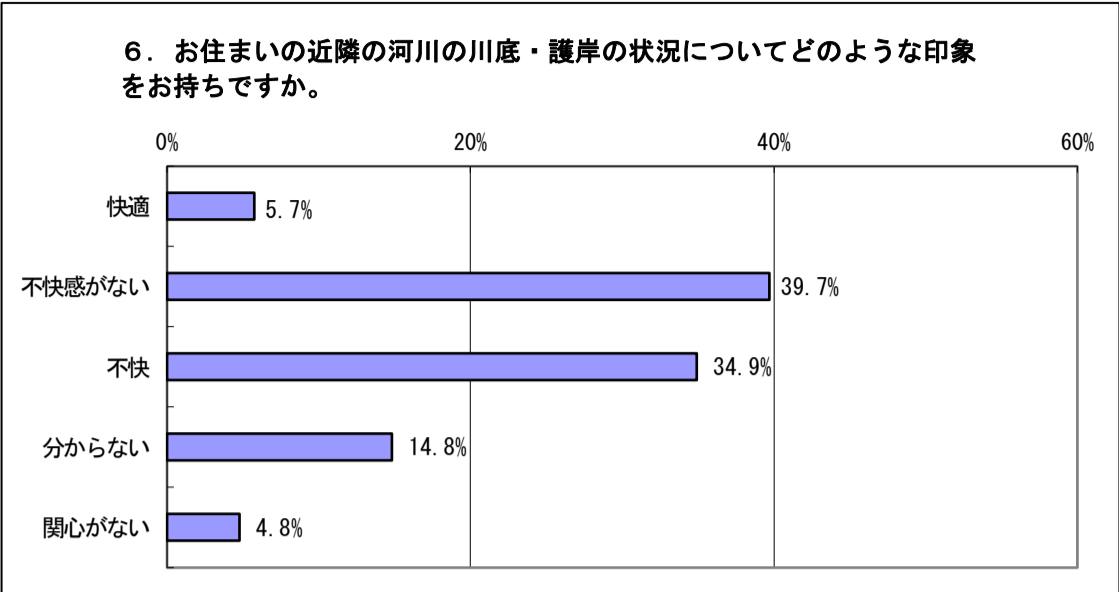
4. お住まいの近隣の河川への親しみはありますか。	回答数	回答対象者	比率
親しみがある	40	209	19.1%
やや親しみがある	68		32.5%
やや親しみがない	31		14.8%
親しみがない	50		23.9%
分からない	13		6.2%
関心がない	7		3.3%
総計	209		100%



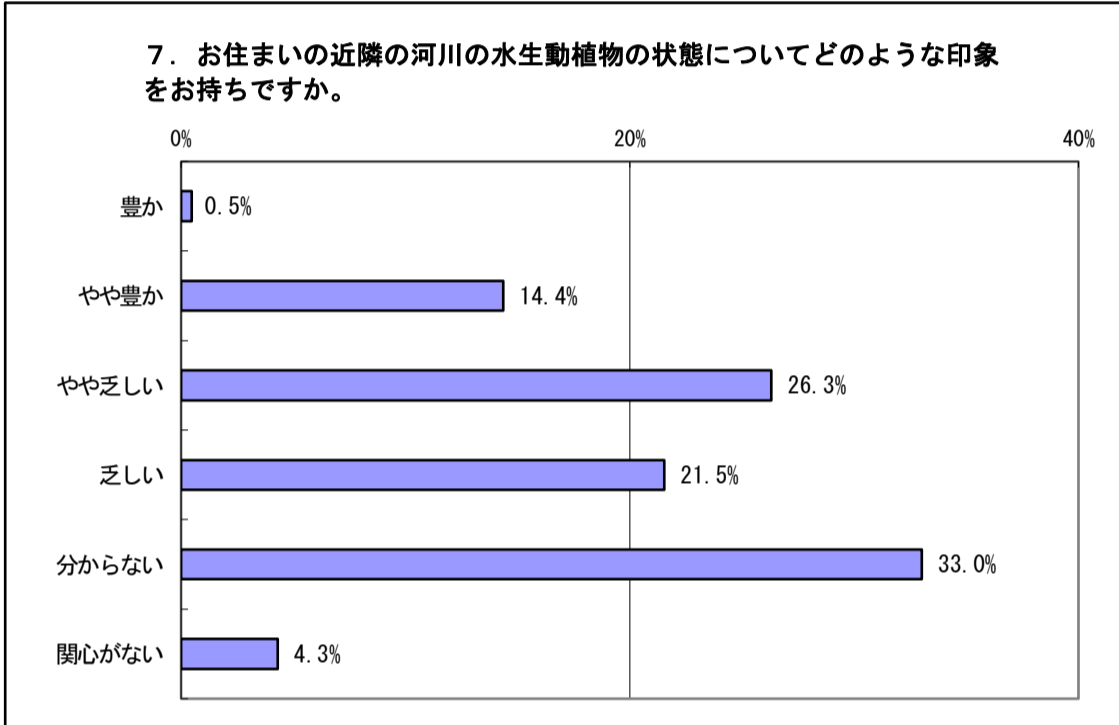
5. お住まいの近隣の河川の水量についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
多い	0	209	0.0%
やや多い	11		5.3%
やや少ない	107		51.2%
少ない	45		21.5%
分からない	38		18.2%
関心がない	8		3.8%
総計	209		100%



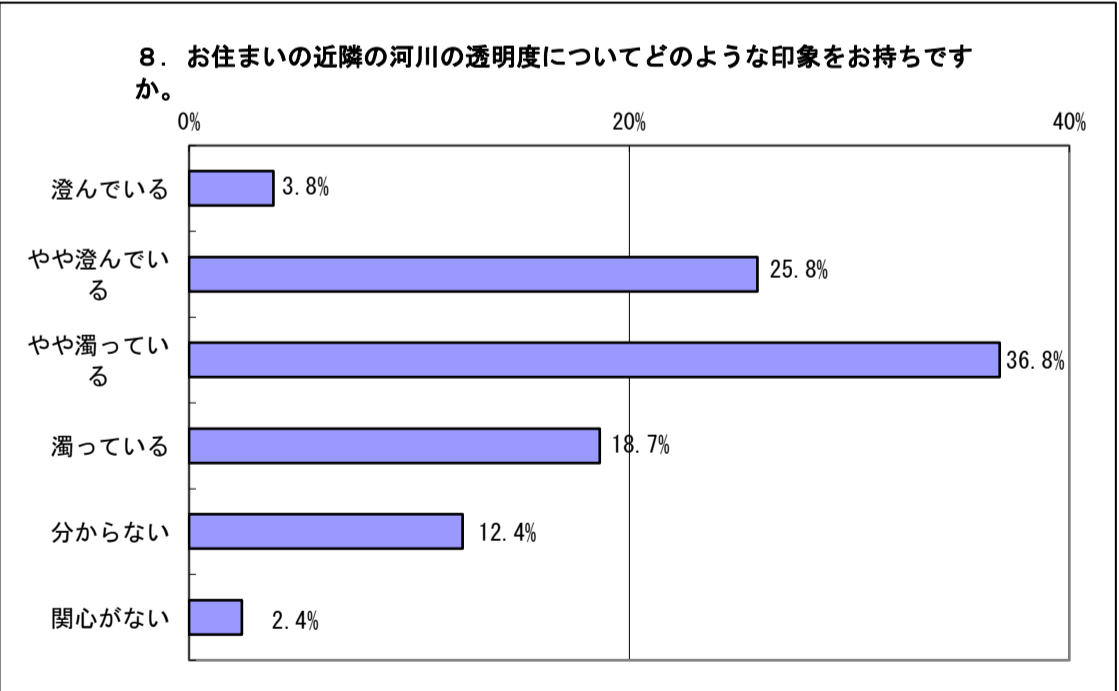
6. お住まいの近隣の河川の川底・護岸の状況についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
快適	12	209	5.7%
不快感がない	83		39.7%
不快	73		34.9%
分からない	31		14.8%
関心がない	10		4.8%
総計	209		100%



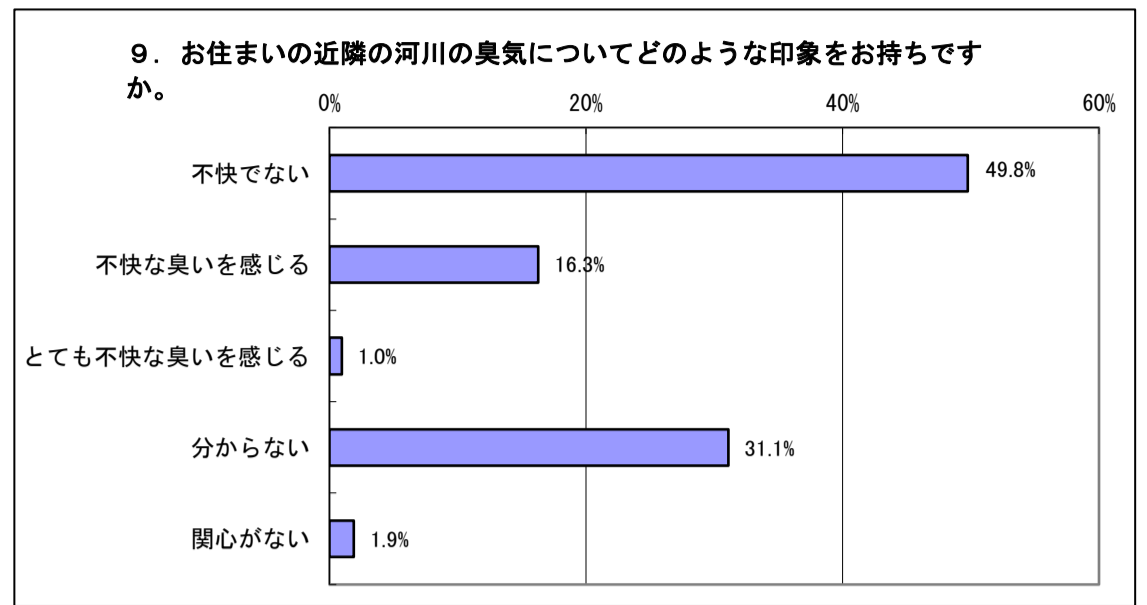
7. お住まいの近隣の河川の水生動植物の状態についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
豊か	1	209	0.5%
やや豊か	30		14.4%
やや乏しい	55		26.3%
乏しい	45		21.5%
分からない	69		33.0%
関心がない	9		4.3%
総計	209		100%



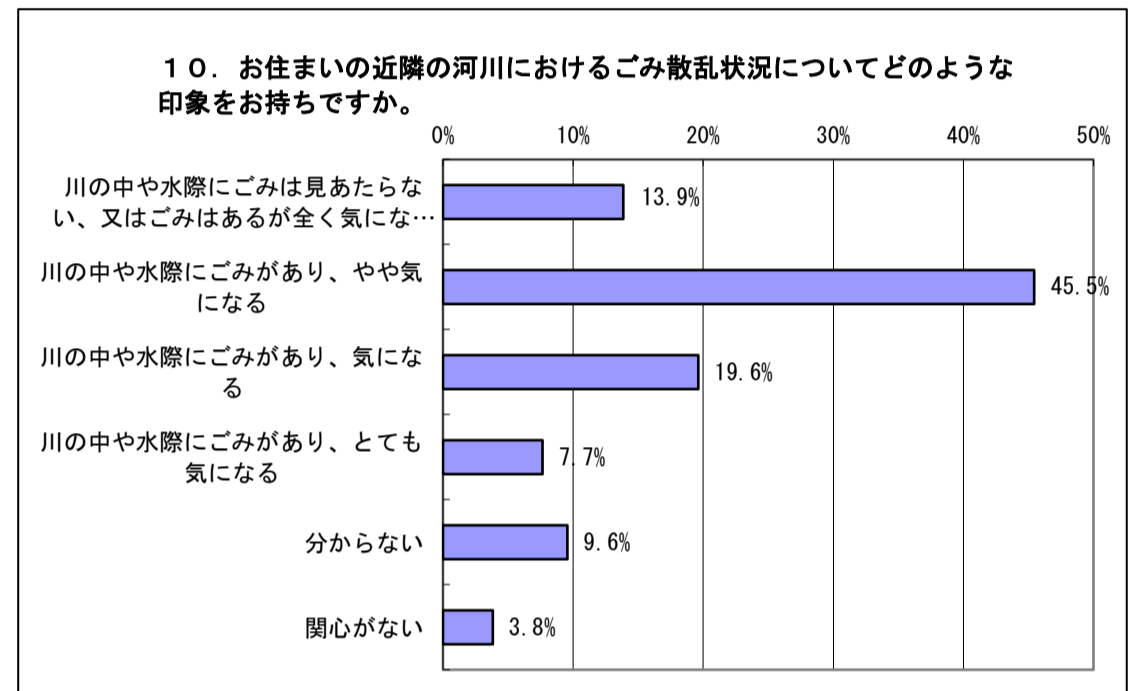
8. お住まいの近隣の河川の透明度についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
澄んでいる	8	209	3.8%
やや澄んでいる	54		25.8%
やや濁っている	77		36.8%
濁っている	39		18.7%
分からない	26		12.4%
関心がない	5		2.4%
総計	209		100%



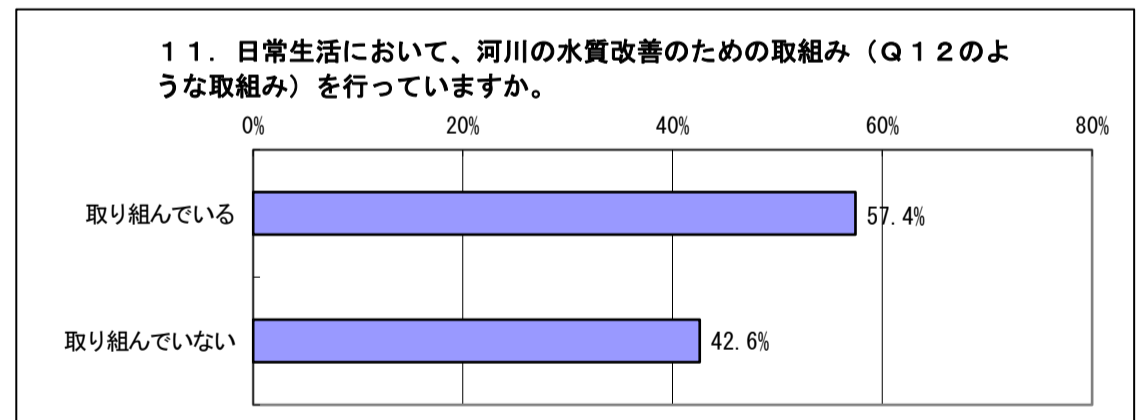
9. お住まいの近隣の河川の臭気についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
不快でない	104	209	49.8%
不快な臭いを感じる	34		16.3%
とても不快な臭いを感じる	2		1.0%
分からない	65		31.1%
関心がない	4		1.9%
総計	209		100%



10. お住まいの近隣の河川におけるごみ散乱状況についてどのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
川の中や水際にごみは見あたらない、又はごみはあるが全く気にならない	29	209	13.9%
川の中や水際にごみがあり、やや気になる	95		45.5%
川の中や水際にごみがあり、気になる	41		19.6%
川の中や水際にごみがあり、とても気になる	16		7.7%
分からない	20		9.6%
関心がない	8		3.8%
総計	209		100%

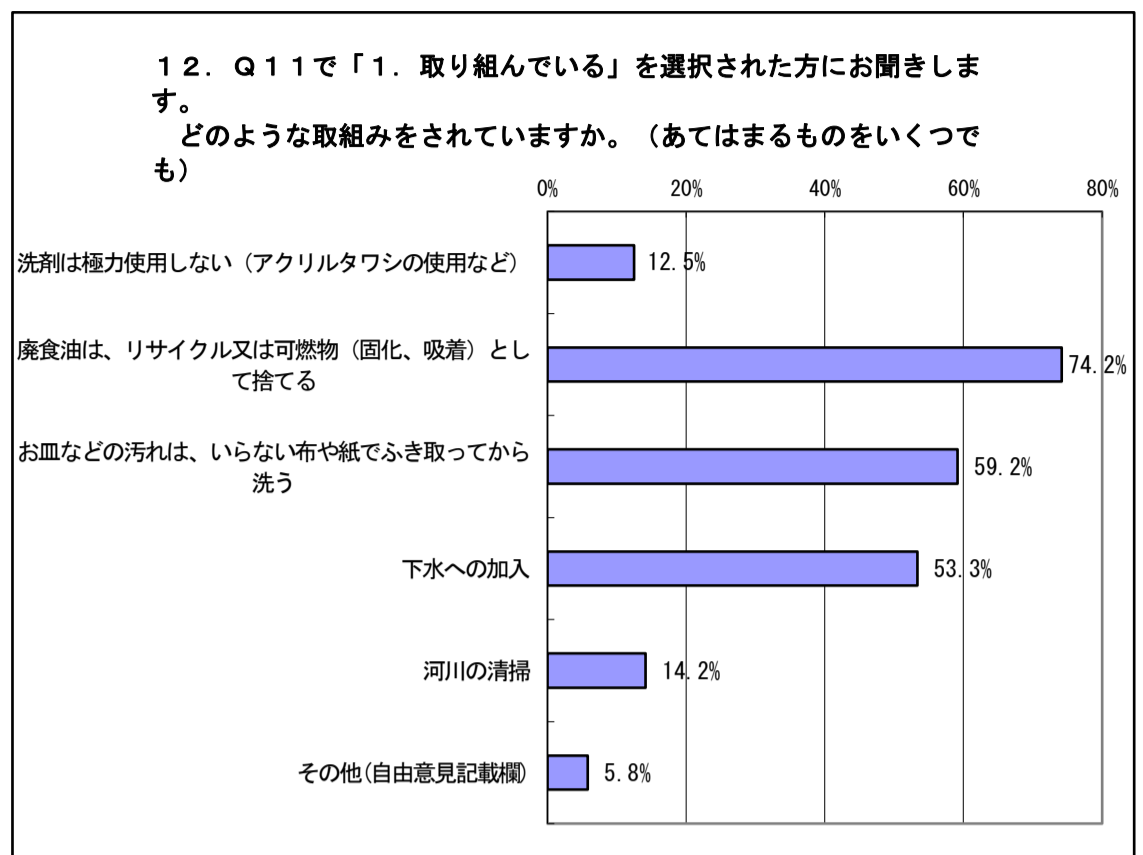


11. 日常生活において、河川の水質改善のための取組み（Q12のような取組み）を行っていますか。	回答数	回答対象者	比率
取り組んでいる	120	209	57.4%
取り組んでいない	89		42.6%
総計	209		100%

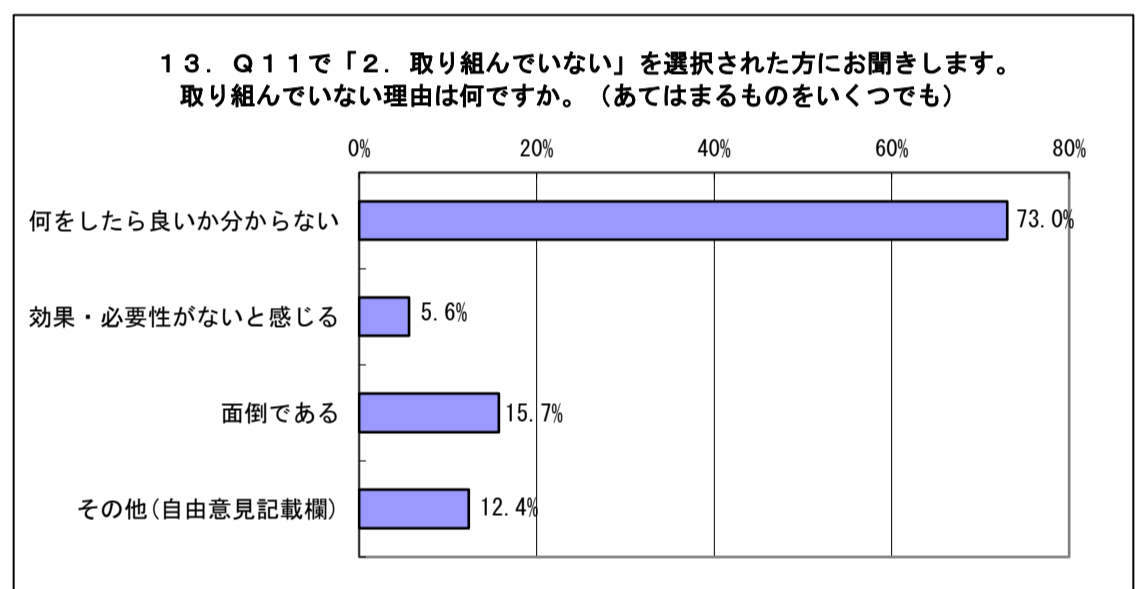


12. Q11で「1. 取り組んでいる」を選択された方にお聞きします。 どのような取組みをされていますか。(あてはまるものをいくつかつでも)	回答数	回答対象者	比率
洗剤は極力使用しない(アクリルタワシの使用など)	15	120	12.5%
廃食油は、リサイクル又は可燃物(固化、吸着)として捨てる	89		74.2%
お皿などの汚れは、いらぬ布や紙でふき取ってから洗う	71		59.2%
下水への加入	64		53.3%
河川の清掃	17		14.2%
その他(自由意見記載欄)	7		5.8%
総計	263		-

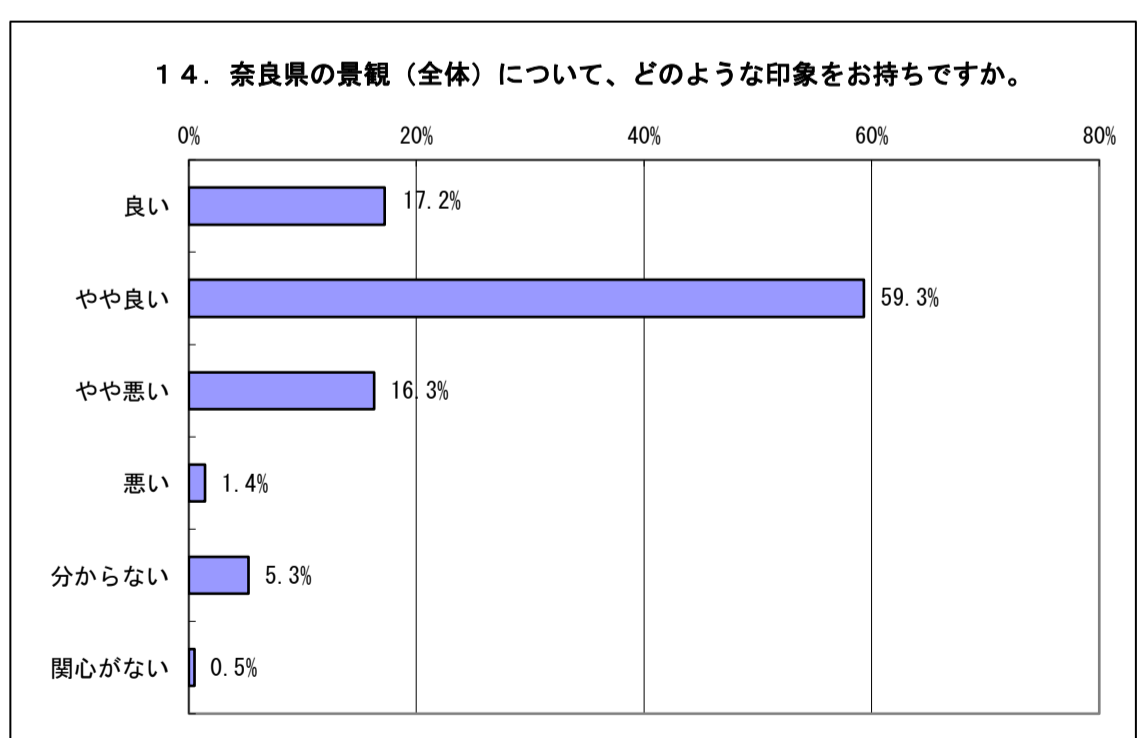
その他(自由意見記載欄) 一部抜粋
庭の散水用・水道水の使用量を減らすためと、大雨が降ったときに少しでも川に流れ込む雨の量を減らせることにつながればと思い、雨水タンクを設置しています。



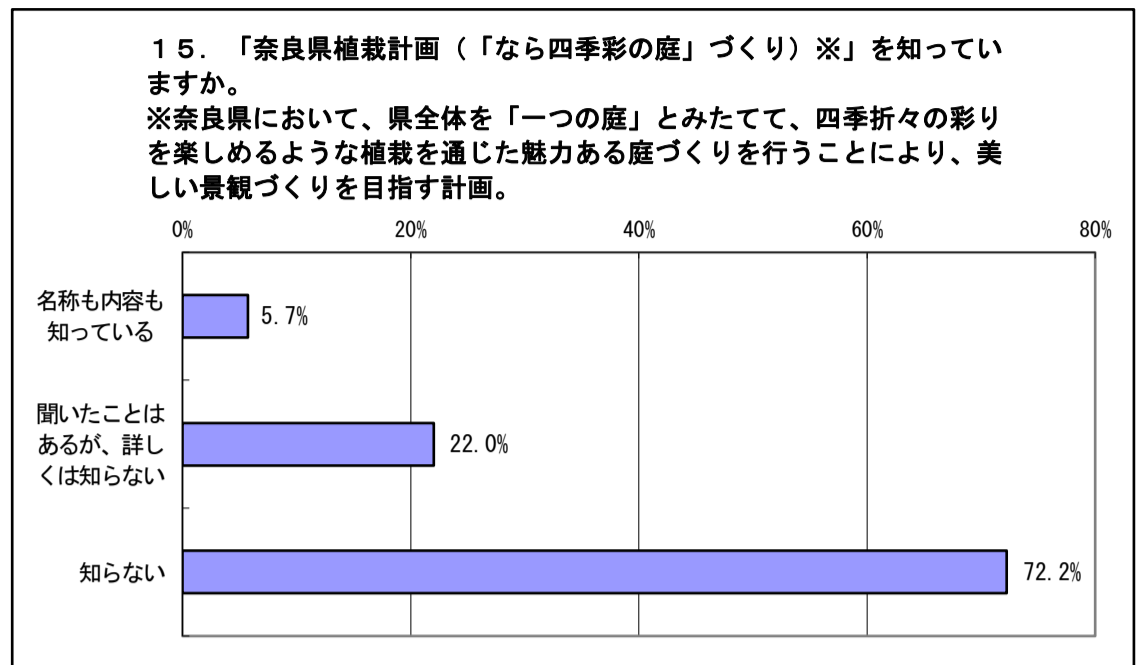
13. Q11で「2. 取り組んでいない」を選択された方にお聞きします。 取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものをいくつかつでも)	回答数	回答対象者	比率
何をしたら良いか分からない	65	89	73.0%
効果・必要性がないと感じる	5		5.6%
面倒である	14		15.7%
その他(自由意見記載欄)	11		12.4%
総計	95		-



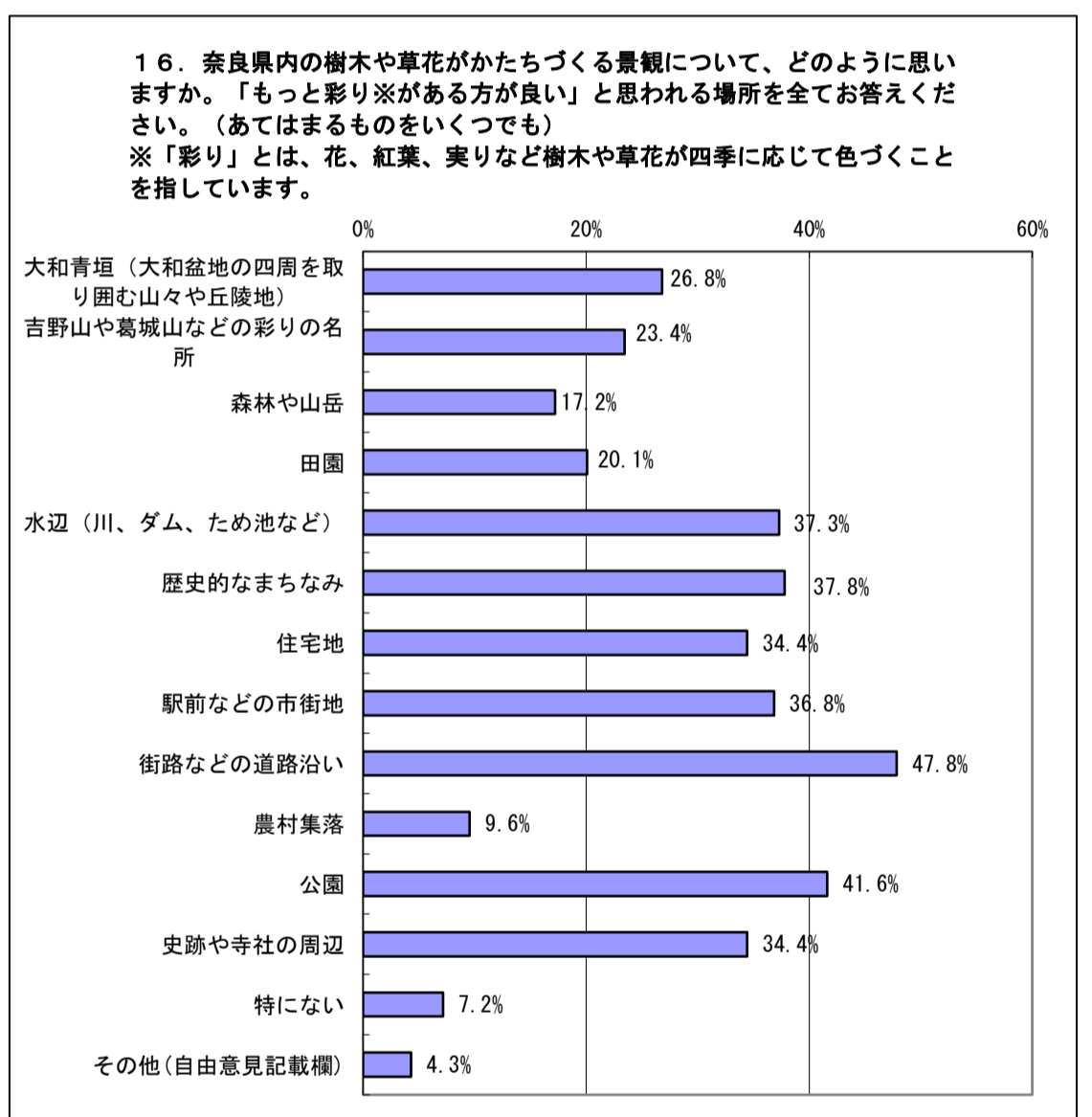
14. 奈良県の景観(全体)について、どのような印象をお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
良い	36	209	17.2%
やや良い	124		59.3%
やや悪い	34		16.3%
悪い	3		1.4%
分からない	11		5.3%
関心がない	1		0.5%
総計	209		100%



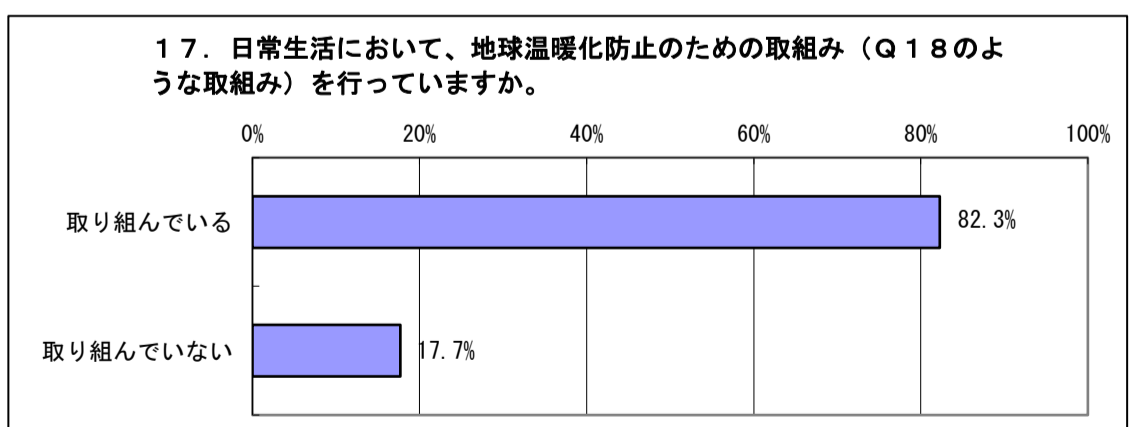
15. 「奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）※」を知っていますか。 ※奈良県において、県全体を「一つの庭」とみだてて、四季折々の彩りを楽しめるような植栽を通じた魅力ある庭づくりを行うことにより、美しい景観づくりを目指す計画。	回答数	回答対象者	比率
名称も内容も知っている	12	209	5.7%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	46		22.0%
知らない	151		72.2%
総計	209		100%



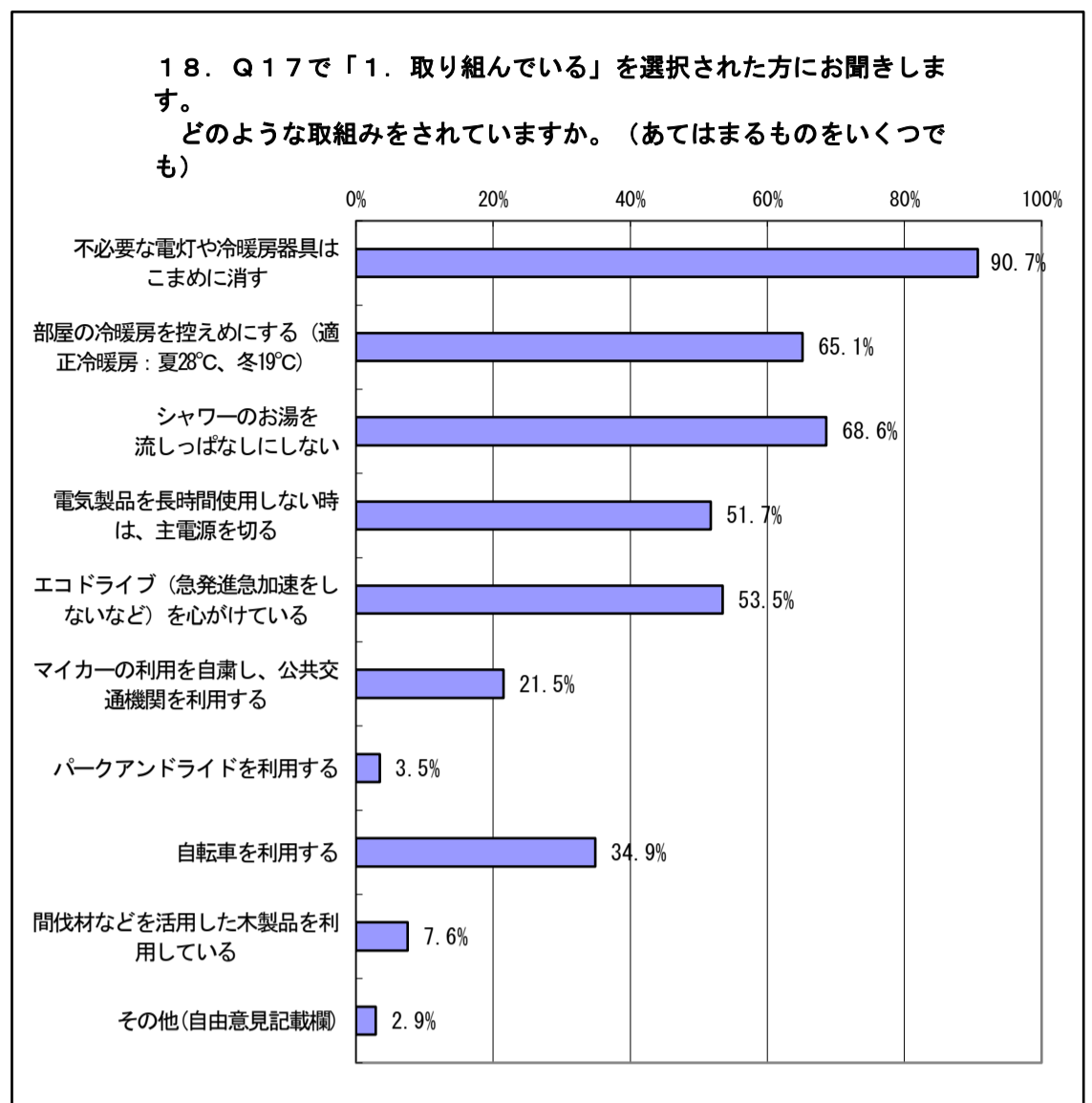
16. 奈良県内の樹木や草花がかたちづくる景観について、どのように思いますか。「もっと彩り※がある方が良い」と思われる場所を全てお答えください。（あてはまるものをいくつでも） ※「彩り」とは、花、紅葉、実りなど樹木や草花が四季に応じて色づくことを指しています。	回答数	回答対象者	比率	
大和青垣（大和盆地の四周を取り囲む山々や丘陵地）	56	209	26.8%	
吉野山や葛城山などの彩りの名所	49		23.4%	
森林や山岳	36		17.2%	
田園	42		20.1%	
水辺（川、ダム、ため池など）	78		37.3%	
歴史的なまちなみ	79		37.8%	
住宅地	72		34.4%	
駅前などの市街地	77		36.8%	
街路などの道路沿い	100		47.8%	
農村集落	20		9.6%	
公園	87		41.6%	
史跡や寺社の周辺	72		34.4%	
特にない	15		7.2%	
その他（自由意見記載欄）	9		4.3%	
総計	792			-



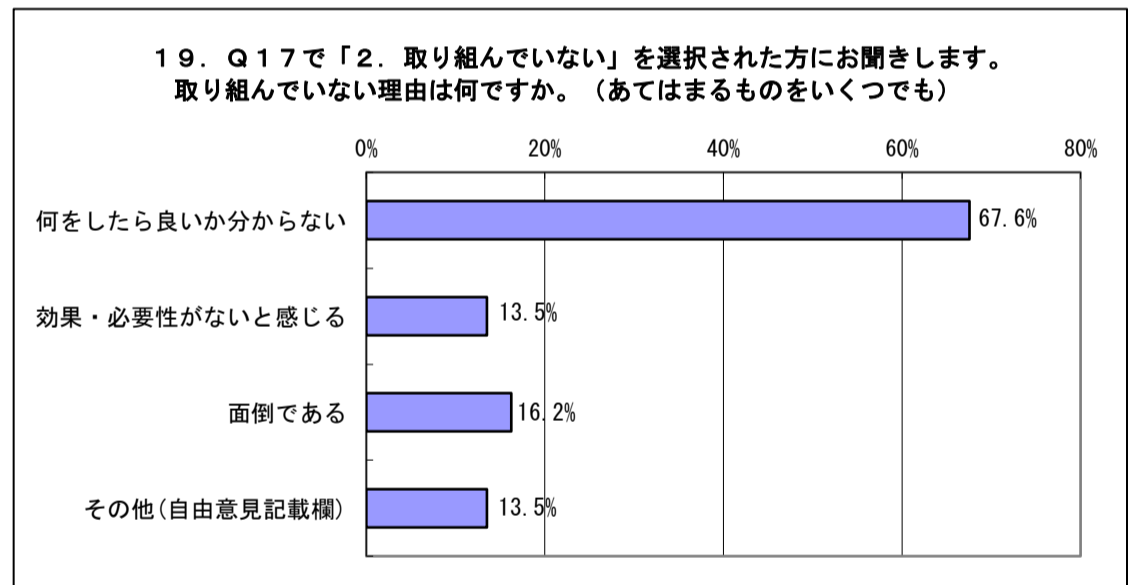
17. 日常生活において、地球温暖化防止のための取組み（Q18のような取組み）を行っていますか。	回答数	回答対象者	比率
取り組んでいる	172	209	82.3%
取り組んでいない	37		17.7%
総計	209		100%



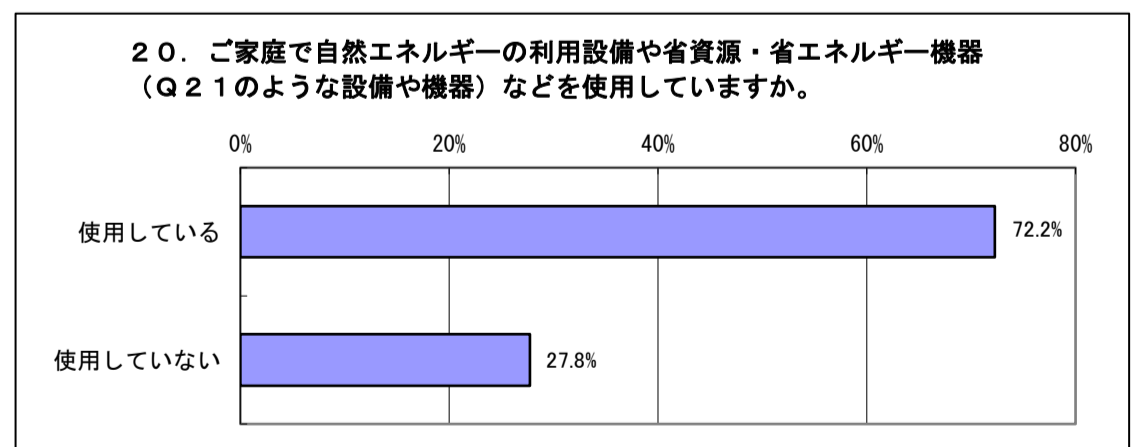
18. Q17で「1. 取り組んでいる」を選択された方にお聞きします。 どのような取組みをされていますか。(あてはまるものをいくつかつでも)	回答数	回答対象者	比率
不必要な電灯や冷暖房器具はこまめに消す	156	172	90.7%
部屋の冷暖房を控えめにする(適正冷暖房:夏28℃、冬19℃)	112		65.1%
シャワーのお湯を流しっぱなしにしない	118		68.6%
電気製品を長時間使用しない時は、主電源を切る	89		51.7%
エコドライブ(急発進急加速をしないなど)を心がけている	92		53.5%
マイカーの利用を自粛し、公共交通機関を利用する	37		21.5%
パークアンドライドを利用する	6		3.5%
自転車を利用する	60		34.9%
間伐材などを活用した木製品を利用している	13		7.6%
その他(自由意見記載欄)	5		2.9%
総計	688		-



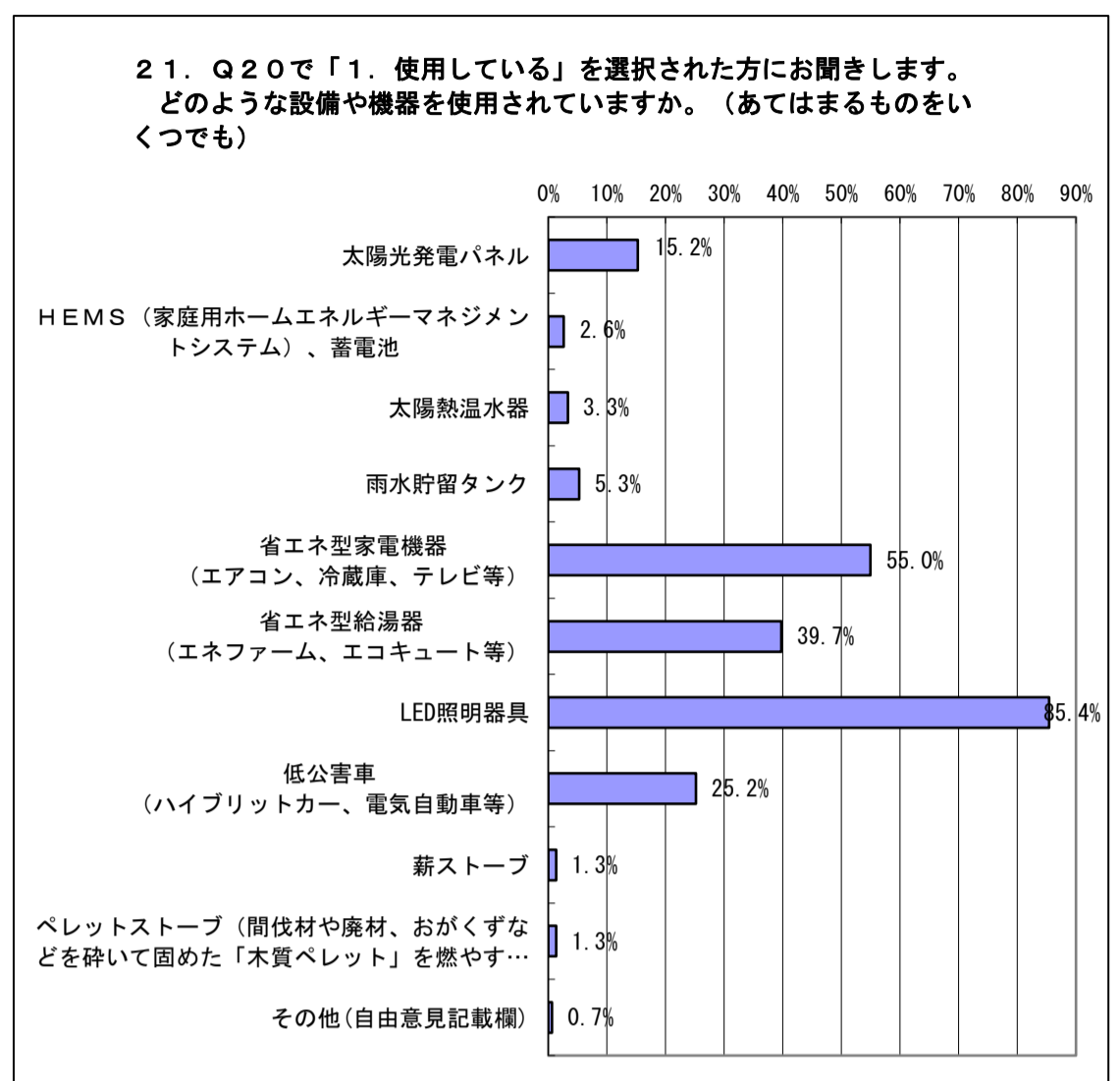
19. Q17で「2. 取り組んでいない」を選択された方にお聞きします。 取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものをいくつかつでも)	回答数	回答対象者	比率
何をしたら良いか分からない	25	37	67.6%
効果・必要性がないと感じる	5		13.5%
面倒である	6		16.2%
その他(自由意見記載欄)	5		13.5%
総計	41		-



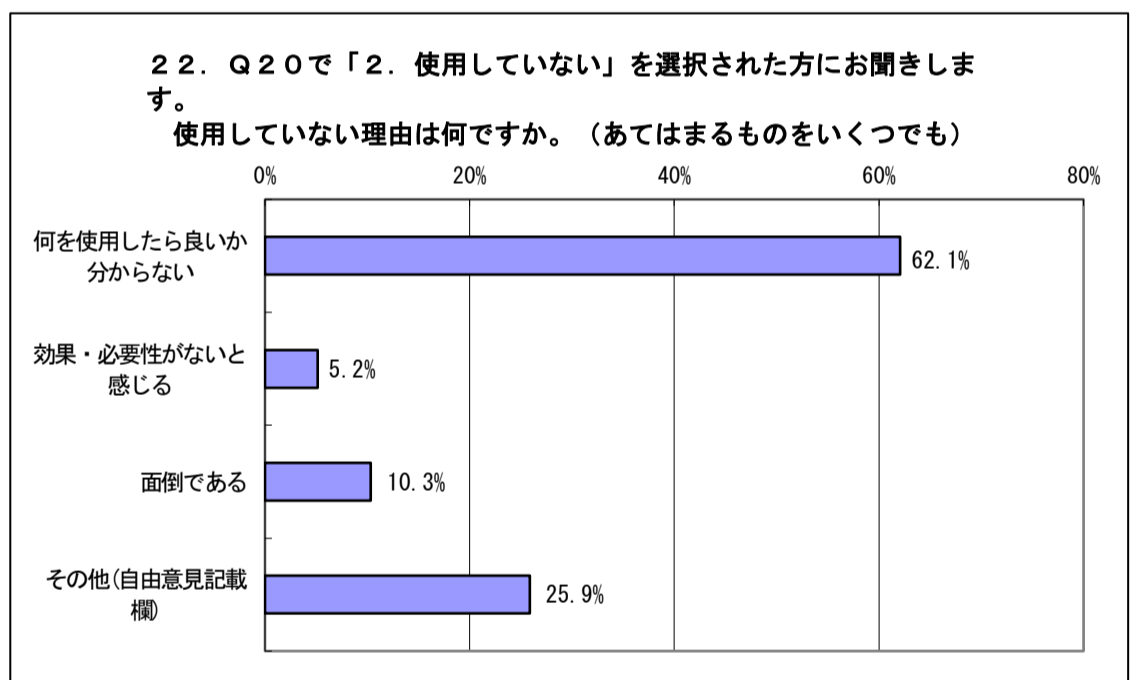
20. ご家庭で自然エネルギーの利用設備や省資源・省エネルギー機器(Q21のような設備や機器)などを使用していますか。	回答数	回答対象者	比率
使用している	151	209	72.2%
使用していない	58		27.8%
総計	209		100%



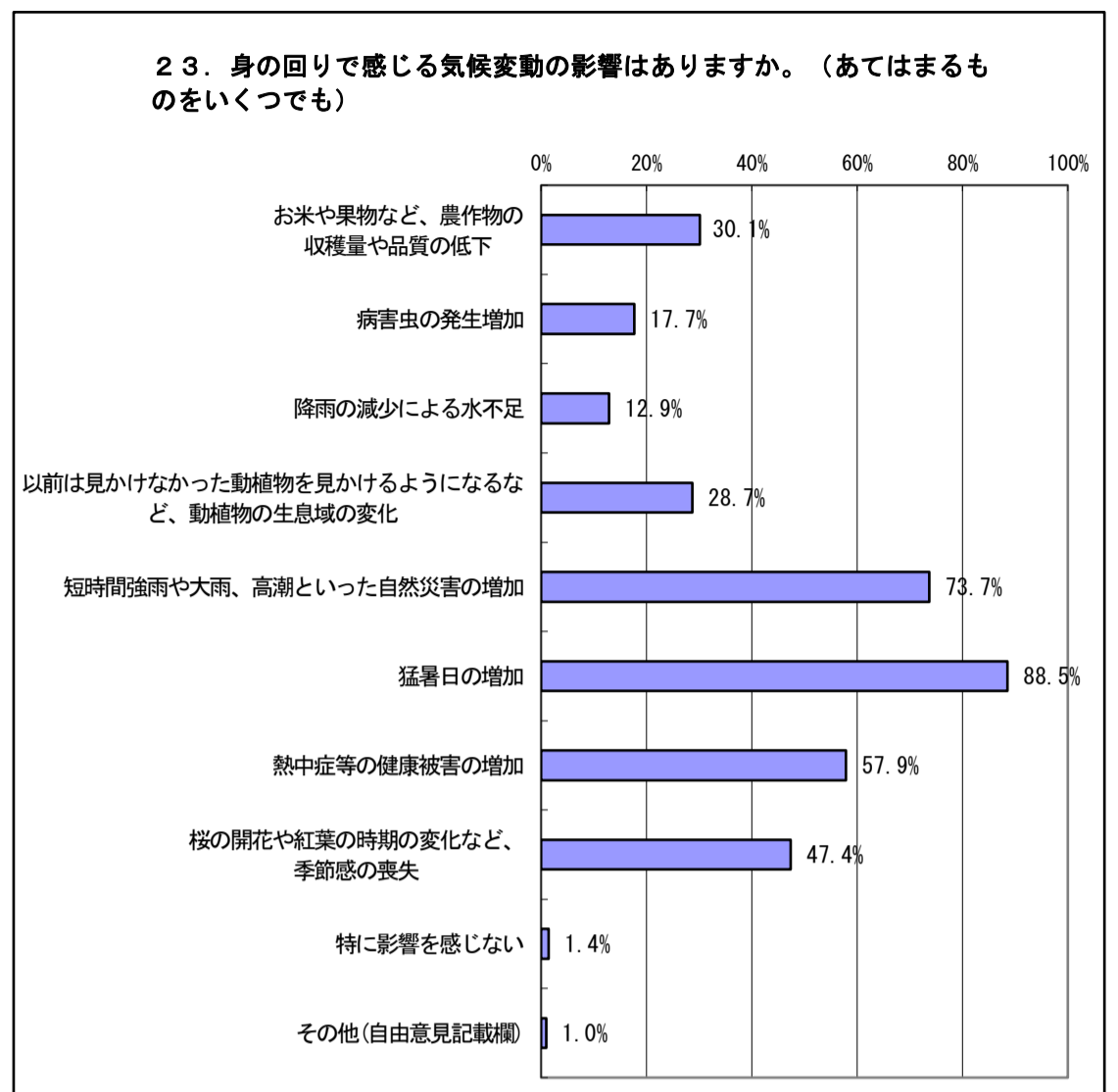
21. Q20で「1. 使用している」を選択された方にお聞きします。 どのような設備や機器を使用されていますか。（あてはまるものをいくつかでも）	回答数	回答対象者	比率
太陽光発電パネル	23	151	15.2%
HEMS（家庭用ホームエネルギーマネジメントシステム）、蓄電池	4		2.6%
太陽熱温水器	5		3.3%
雨水貯留タンク	8		5.3%
省エネ型家電機器（エアコン、冷蔵庫、テレビ等）	83		55.0%
省エネ型給湯器（エネファーム、エコキュート等）	60		39.7%
LED照明器具	129		85.4%
低公害車（ハイブリットカー、電気自動車等）	38		25.2%
薪ストーブ	2		1.3%
ペレットストーブ（間伐材や廃材、おがくずなどを砕いて固めた「木質ペレット」を燃やすストーブ）	2		1.3%
その他（自由意見記載欄）	1		0.7%
総計	355	-	



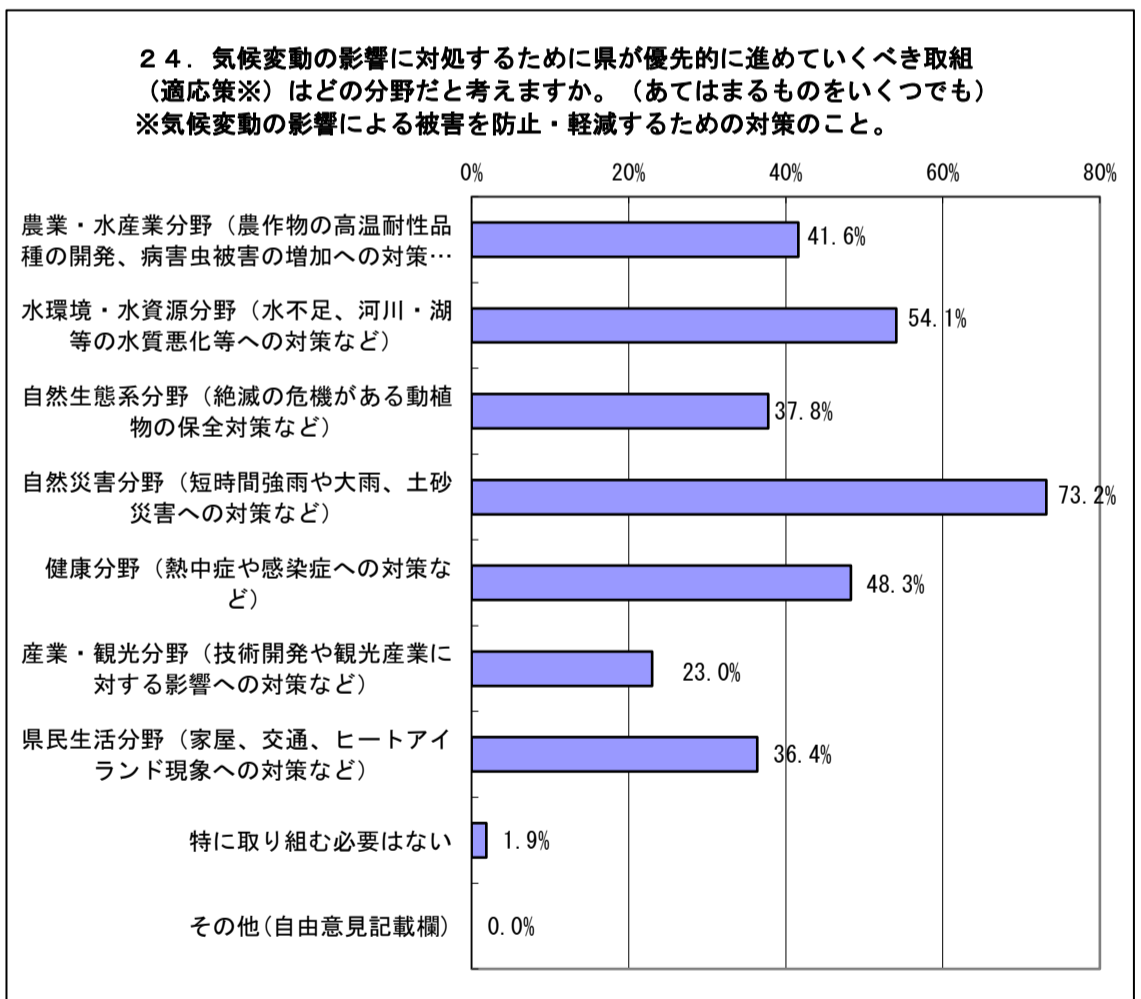
22. Q20で「2. 使用していない」を選択された方にお聞きします。 使用していない理由は何ですか。（あてはまるものをいくつかでも）	回答数	回答対象者	比率
何を使用したら良いか分からない	36	58	62.1%
効果・必要性がないと感じる	3		5.2%
面倒である	6		10.3%
その他（自由意見記載欄）	15		25.9%
総計	60	-	



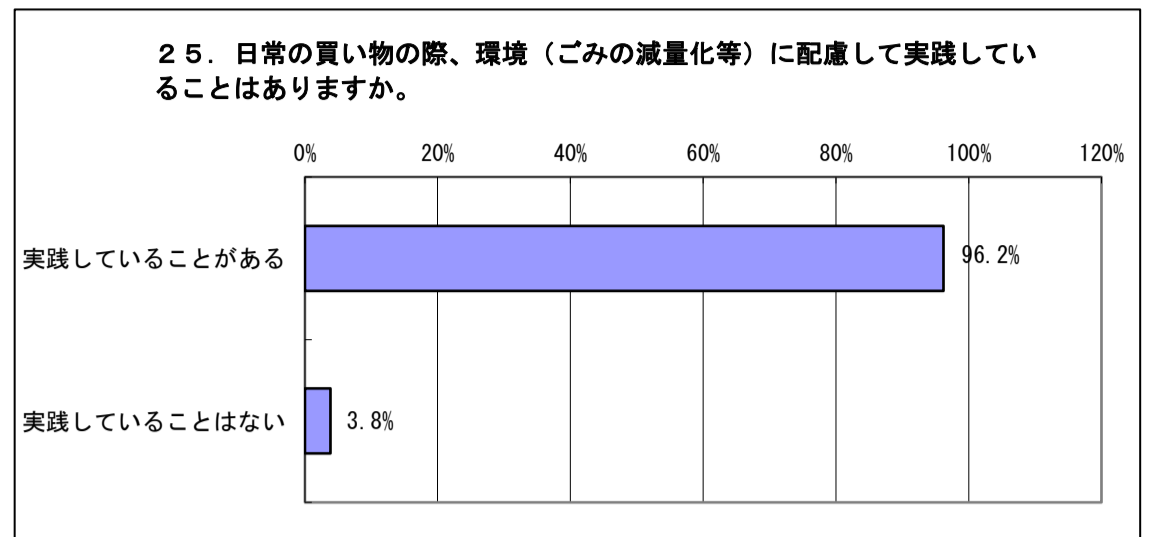
23. 身の回りで感じる気候変動の影響はありますか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
お米や果物など、農作物の収穫量や品質の低下	63	209	30.1%
病害虫の発生増加	37		17.7%
降雨の減少による水不足	27		12.9%
以前は見かけなかった動植物を見かけるようになるなど、動植物の生息域の変化	60		28.7%
短時間強雨や大雨、高潮といった自然災害の増加	154		73.7%
猛暑日の増加	185		88.5%
熱中症等の健康被害の増加	121		57.9%
桜の開花や紅葉の時期の変化など、季節感の喪失	99		47.4%
特に影響を感じない	3		1.4%
その他(自由意見記載欄)	2		1.0%
総計	751		-



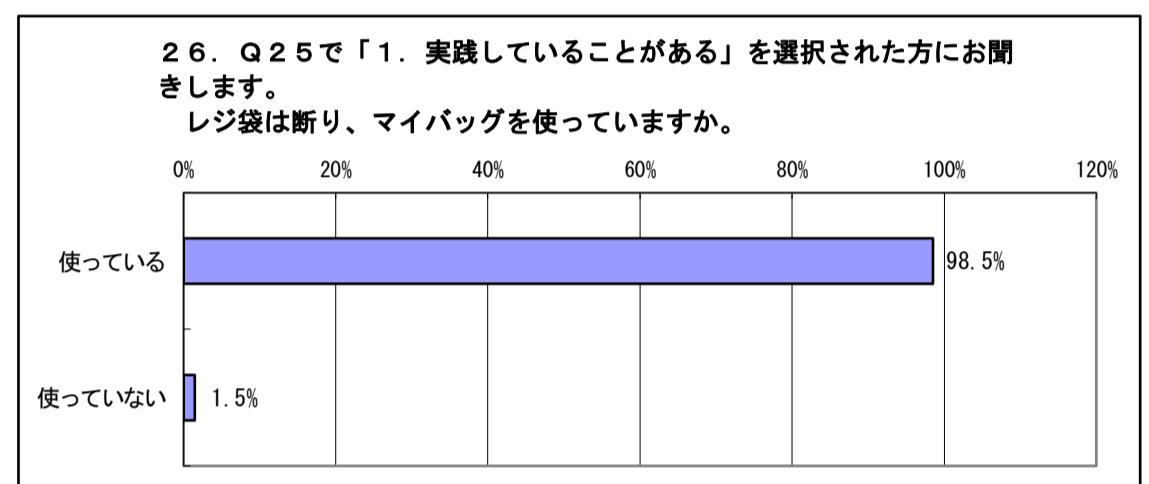
24. 気候変動の影響に対処するために県が優先的に進めていくべき取組(適応策※)はどの分野だと考えますか。(あてはまるものをいくつでも) ※気候変動の影響による被害を防止・軽減するための対策のこと。	回答数	回答対象者	比率
農業・水産業分野(農作物の高温耐性品種の開発、病害虫被害の増加への対策など)	87	209	41.6%
水環境・水資源分野(水不足、河川・湖等の水質悪化等への対策など)	113		54.1%
自然生態系分野(絶滅の危機がある動植物の保全対策など)	79		37.8%
自然災害分野(短時間強雨や大雨、土砂災害への対策など)	153		73.2%
健康分野(熱中症や感染症への対策など)	101		48.3%
産業・観光分野(技術開発や観光産業に対する影響への対策など)	48		23.0%
県民生活分野(家屋、交通、ヒートアイランド現象への対策など)	76		36.4%
特に取り組む必要はない	4		1.9%
その他(自由意見記載欄)	0		0.0%
総計	661		-



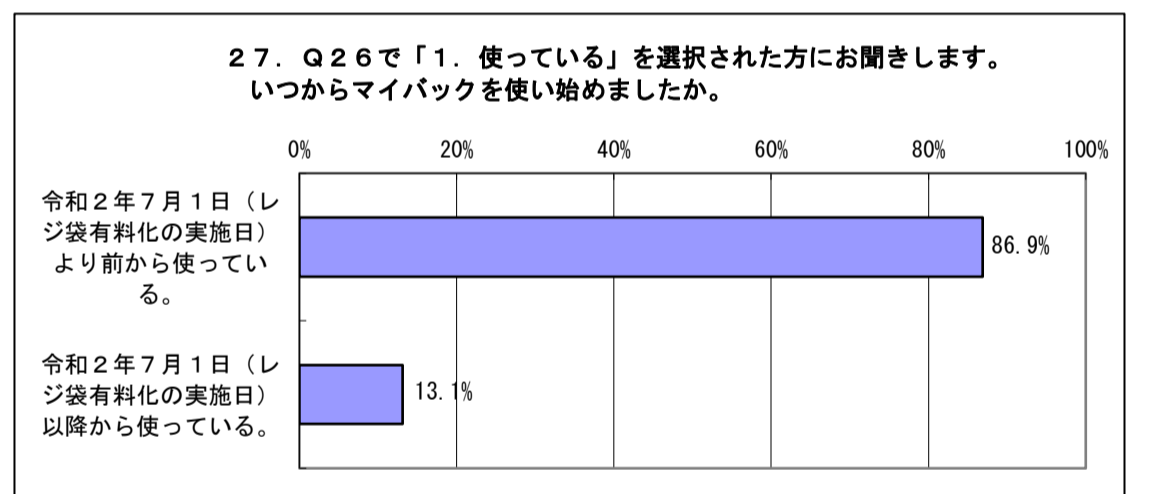
25. 日常の買い物の際、環境（ごみの減量化等）に配慮して実践していることはありますか。	回答数	回答対象者	比率
実践していることがある	201	209	96.2%
実践していることはない	8		3.8%
総計	209		100%



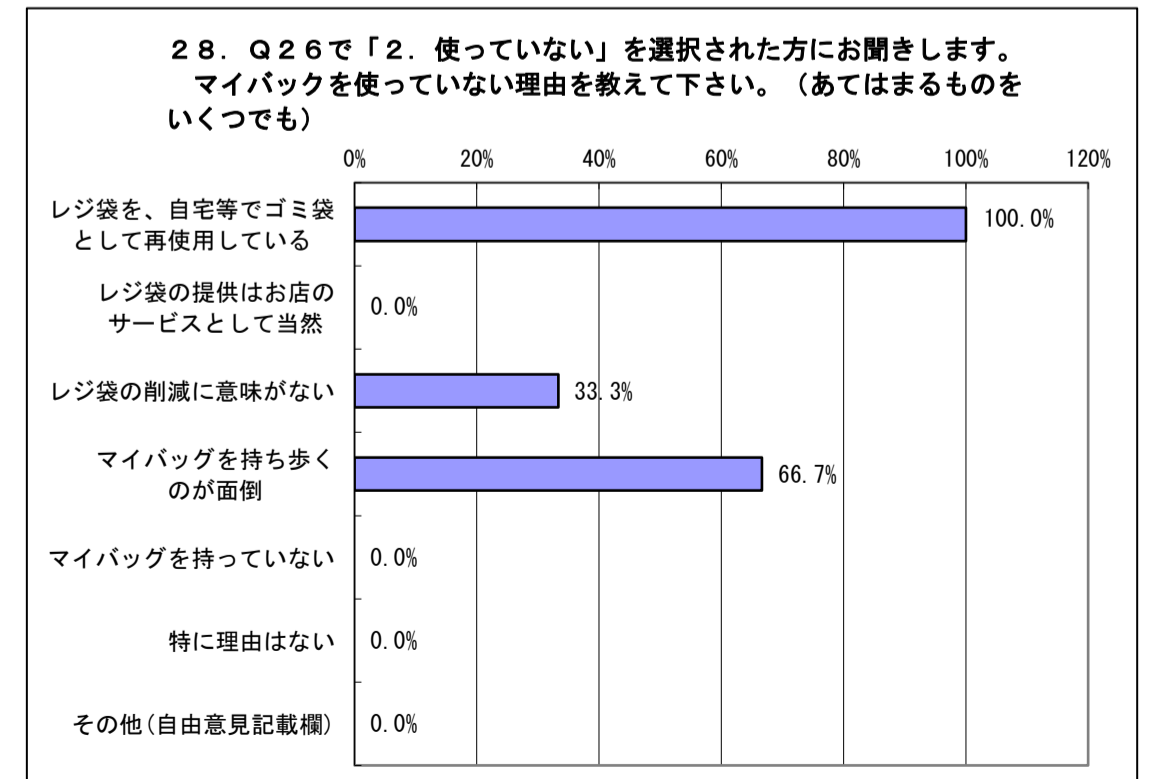
26. Q25で「1. 実践していることがある」を選択された方にお聞きします。 レジ袋は断り、マイバッグを使っていますか。	回答数	回答対象者	比率
使っている	198	201	98.5%
使っていない	3		1.5%
総計	201		100%



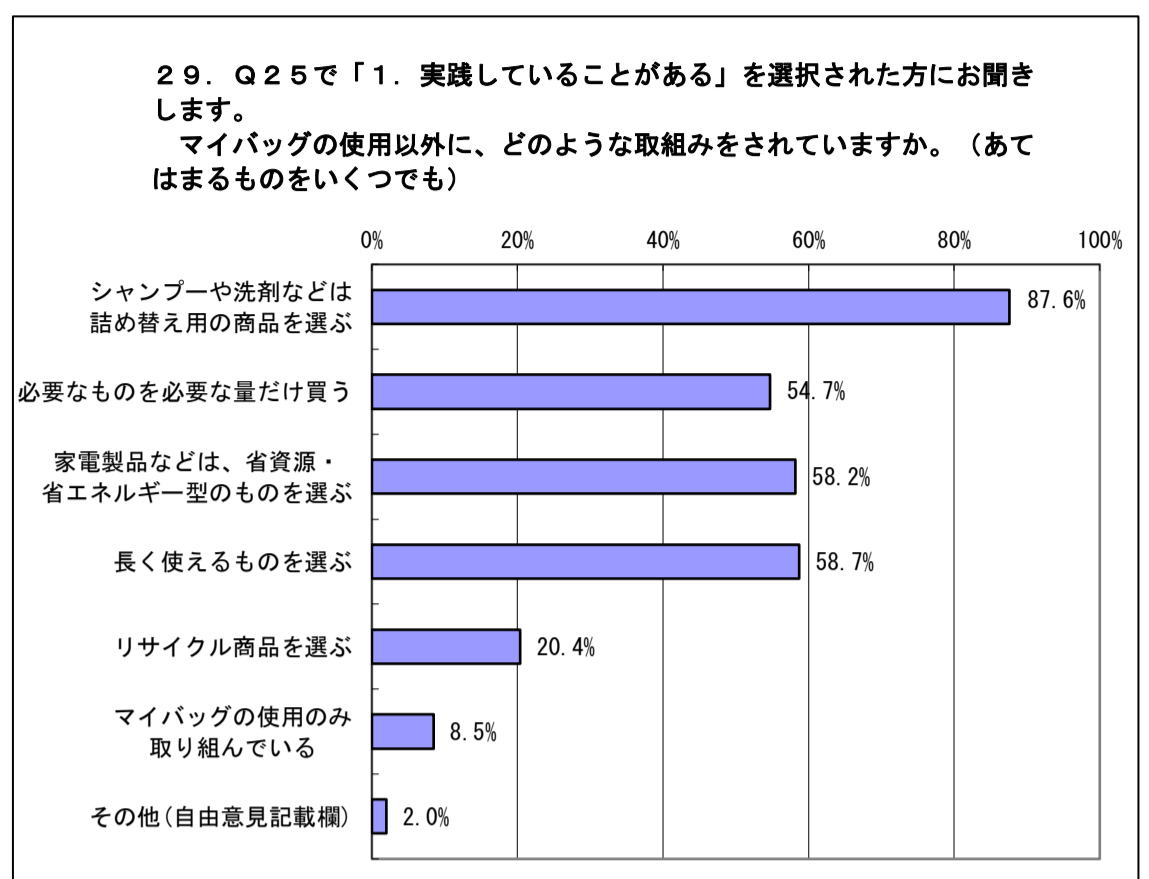
27. Q26で「1. 使っている」を選択された方にお聞きします。 いつからマイバックを使い始めましたか。	回答数	回答対象者	比率
令和2年7月1日（レジ袋有料化の実施日）より前から使っている。	172	198	86.9%
令和2年7月1日（レジ袋有料化の実施日）以降から使っている。	26		13.1%
総計	198		100%



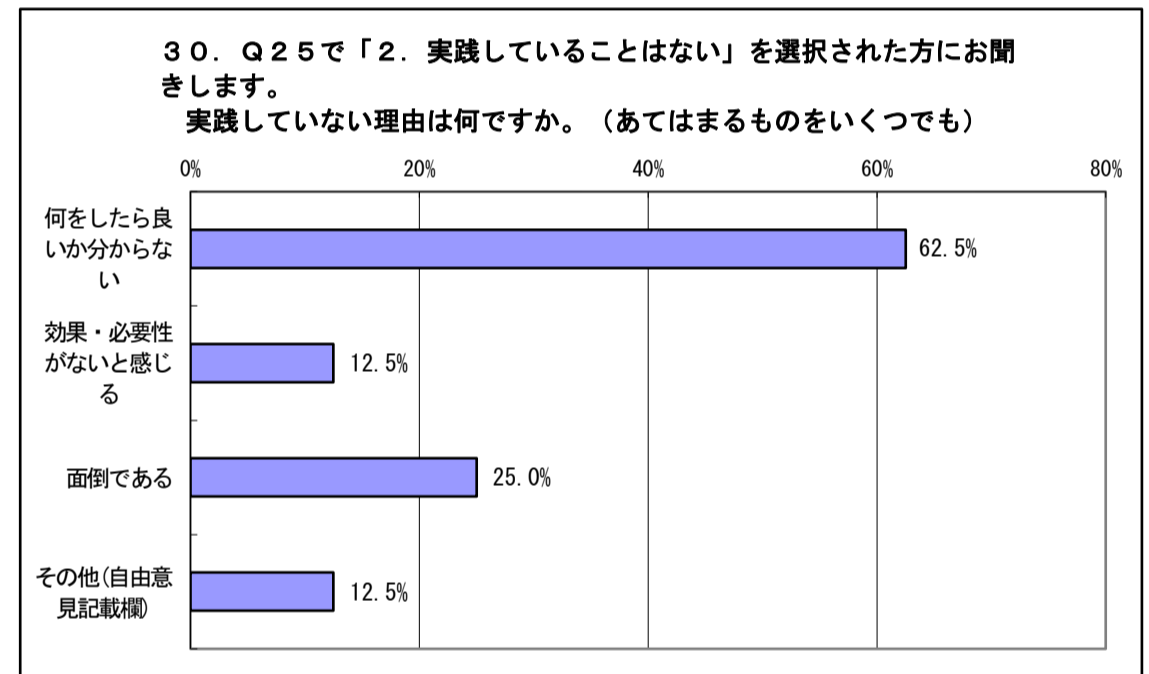
28. Q26で「2. 使っていない」を選択された方にお聞きします。 マイバックを使っていない理由を教えてください。（あてはまるものをいくつかでも）	回答数	回答対象者	比率
レジ袋を、自宅等でゴミ袋として再使用している	3	3	100.0%
レジ袋の提供はお店のサービスとして当然	0		0.0%
レジ袋の削減に意味がない	1		33.3%
マイバッグを持ち歩くのが面倒	2		66.7%
マイバッグを持っていない	0		0.0%
特に理由はない	0		0.0%
その他(自由意見記載欄)	0		0.0%
総計	6		-



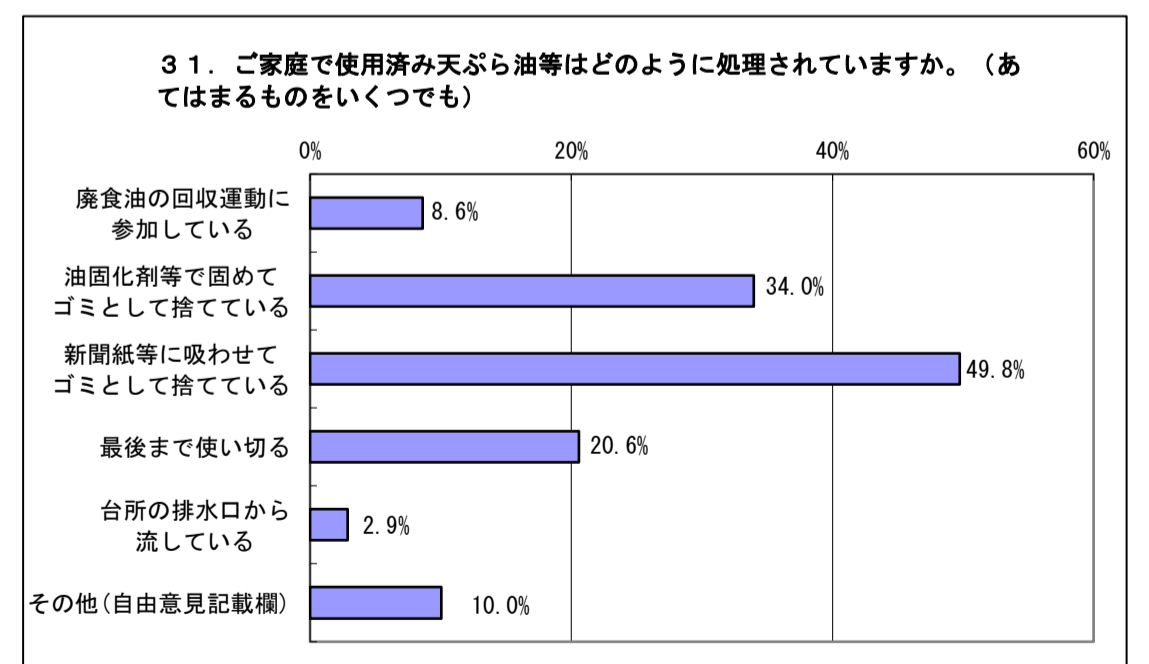
29. Q25で「1. 実践していることがある」を選択された方にお聞きします。 マイバッグの使用以外に、どのような取組みをされていますか。(あてはまるものをいくつか)	回答数	回答対象者	比率
シャンプーや洗剤などは詰め替え用の商品を選ぶ	176	201	87.6%
必要なものを必要な量だけ買う	110		54.7%
家電製品などは、省資源・省エネルギー型の商品を選ぶ	117		58.2%
長く使えるものを選ぶ	118		58.7%
リサイクル商品を選ぶ	41		20.4%
マイバッグの使用のみ取り組んでいる	17		8.5%
その他(自由意見記載欄)	4		2.0%
総計	583		-



30. Q25で「2. 実践していることはない」を選択された方にお聞きします。 実践していない理由は何ですか。(あてはまるものをいくつか)	回答数	回答対象者	比率
何をしたら良いかわからない	5	8	62.5%
効果・必要性がないと感じる	1		12.5%
面倒である	2		25.0%
その他(自由意見記載欄)	1		12.5%
総計	9		-



31. ご家庭で使用済み天ぷら油等はどうに処理されていますか。(あてはまるものをいくつか)	回答数	回答対象者	比率
廃食油の回収運動に参加している	18	209	8.6%
油固化剤等で固めてゴミとして捨てている	71		34.0%
新聞紙等に吸わせてゴミとして捨てている	104		49.8%
最後まで使い切る	43		20.6%
台所の排水口から流している	6		2.9%
その他(自由意見記載欄)	21		10.0%
総計	263		-



32. 奈良県の環境（全般）についてご意見があれば、ご記入ください。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	73	-	-

ご意見等	一部抜粋
歴史のある建造物とおおらかな風景を未来に残しつつ、それらを生かした住環境、道路の整備、開発を進めていただきたいです。	
奈良県は他に比べて自然災害が少ないと思います。このメリットを活かして若者やシニアが安心して定住できる地域にしていきたいです。	